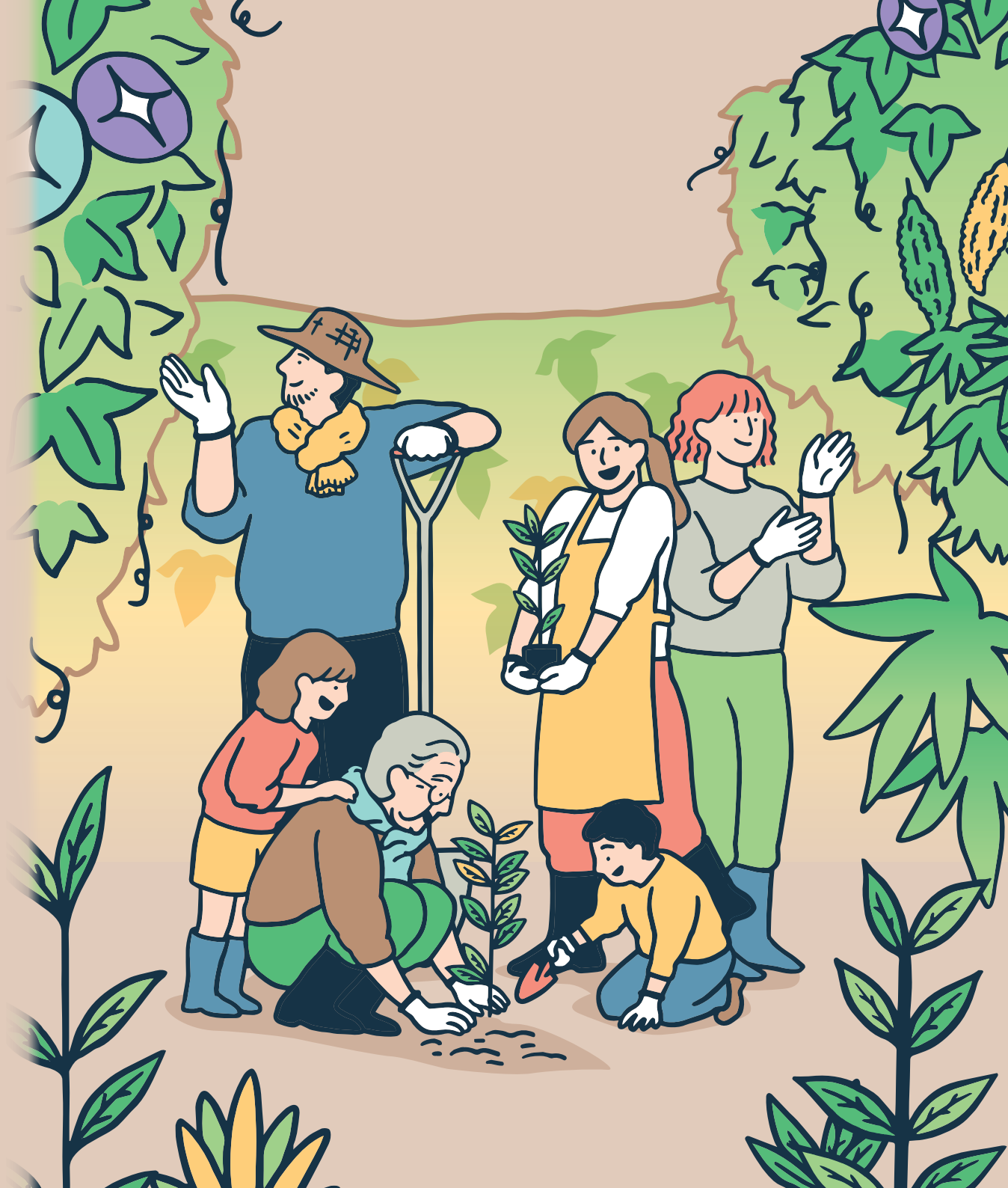


環境意識の向上

環境人材を育成し、 社会に貢献する。

世界には環境、貧困、人権、平和、開発といったさまざまな課題があります。これらを自らの課題と捉え、身近なところから取り組むことにより、新たな価値観や行動を生み出すとともに行政、企業、NPOなどが連携して課題解決に取り組むことが重要です。企業の環境経営の推進には、従業員の環境意識の向上と積極的な取り組みが不可欠です。

中部電力グループは、「一人ひとりが環境について正しく知ること、自らの目で見て体験すること」を通じて、環境意識の向上や環境に配慮した行動が自発的にできる人材の育成に努めています。



環境意識の向上

環境・エネルギー教育の取り組み

環境エネルギー塾

大学生・大学院生、短大生、高専生、専門学生を対象に発電所などの施設見学や、エネルギーに関する座学・ディスカッションを実施しています。

環境・エネルギーをとりまく現状や当社の環境への取り組みについて理解を深めていただき、エネルギーの将来を考え、自分の意見を持てる次世代層の育成を目指しています。市民・市民団体、企業、教育機関、行政が協働してつくる実行委員形式の組織「なごや環境大学」の講座として、2005年から毎年開講しています。

出前教室

当社社員やでんきの科学館スタッフが学校に出向き、小中学生を対象に「電気実験教室」や「環境・エネルギー教室」などを実施しています。

「環境・エネルギー教室」では日本のエネルギー事情や地球温暖化、SDGsなどについて学習し、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとしてもらいます。

次世代層向けの環境教育
小中学生向け **340件** 施設見学 **86件**

(2023年度実績)



施設見学(長良川水力発電所)



小学校での出前教室

ちゅうでん壁新聞

中部電力創立(1951年)以来、小学生向けに発行しています。子どもたちの「なぜだろう」「どうしてだろう」という好奇心を大切にしたい切り口で、電気・エネルギーだけでなく環境や自然、生き物、宇宙、文化・スポーツなど幅広いテーマを取り上げています。



環境意識の向上

地域社会における取り組み

環境イベントでの啓発活動

当社が主催するイベントだけでなく、各自治体などが主催する環境イベントでも環境への取り組みや地球温暖化の仕組みや省エネルギー活動について啓発を実施しています。間伐材で作るバードコールを使ったワークショップでは、森林保全の意義について啓発しています。

緑のカーテン 気候変動への適応

アサガオなどのつる性植物の種をお客さまへお配りし、「緑のカーテン」を育てていただくキャンペーンを1992年から毎年実施しています。自然の力を利用した「緑のカーテン」は、夏場の省エネ活動や環境保全活動につながります。

現在この活動は、行政や学校を中心に全国へ広がっています。

森を楽しむツアー

2001年から認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会との協働事業として環境活動を展開しています。2022年度からは、森や自然をより身近に感じていただけるように、親子向け自然体験企画として「森を楽しむツアー」を開催しています。

愛知県名古屋市、三重県菰野町、静岡県掛川市において、4日間で8回開催し、186名の方に参加いただきました。

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)

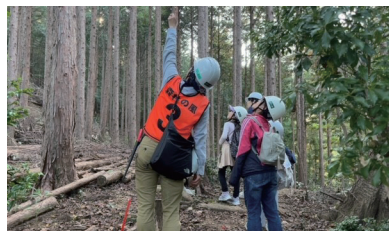
中部地域の産業界が中心となり、2000年に設立された環境啓発団体です。2024年7月現在253社（者）が参加し、会員企業のレベルアップのためにセミナー、視察などの活動を実施しています。当社はEPOCの活動に積極的に参画・協力しています。



バードコール作り(間伐材利用)



中部電力本店



森を楽しむツアー(菰野富士(三重県))

社内における取り組み

環境配慮メニューの提供

従業員へ、食を通じた環境配慮の意識を啓発するため、本店ビルの社員食堂で環境配慮メニューの提供をはじめました。生物多様性や資源循環に関する課題を伝えていきます。

未利用魚・低利用魚と言われる種類の魚を積極的に食べることで廃棄される魚を減らし、漁獲量の減少という問題を持つ日本の海を守ることを訴えました。



未利用魚を使ったメニュー

従業員への環境教育・法令対応の徹底

全従業員に対して環境法令eラーニングや理解度テストなどを実施し、法令対応の徹底と環境保全活動への自主的な取り組みを促しています。